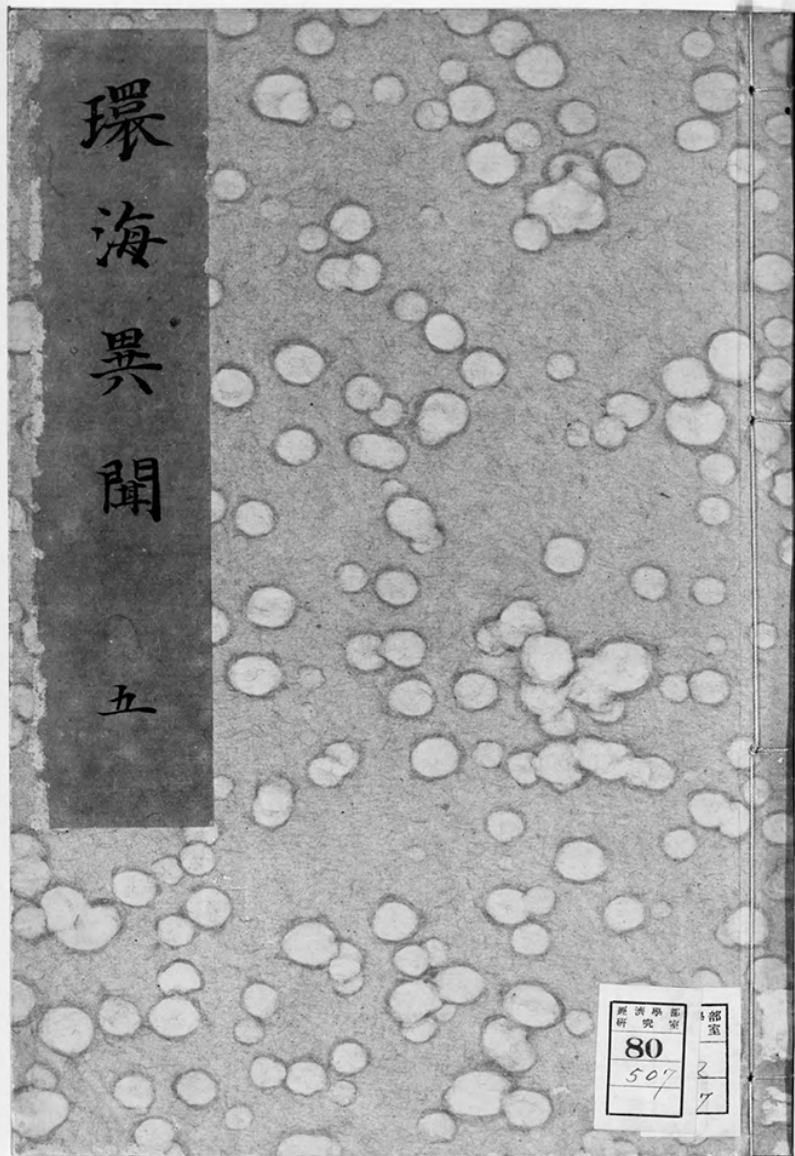


近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。





經濟學概論

張海巽 卷之四

中丞書帆
歸朝洋中記



月去日時と海と流るるをいへば酒ひて出づるは
 海のものなりと云ふは多しものなりと云ふは梅と海と極む
 といふは海と沖と云ふはいへば海と云ふは海と云ふは
 月去日時と云ふは海と流るるをいへば酒ひて出づるは
 梅と海と極むといふは海と云ふは海と云ふは海と云ふは

[illegible]

はあ大漢の軍船も全覆没してうらたうたに今や茶毒な
 はあ前清の軍船も全覆没してうらたうたに今や茶毒な
 そは軍船の官が都てく車よりラ格の橋何とも知れぬ

けりハ漢又打金はカキイキリありける國もせぬ金
 の國ありた府と電動のよと名魯西國の海あり
 るは金と國と金とてと名はるの海ありとてや
 又海はもの多き海とてと名はるの海ありとてや
 海のよと名はるの海ありとてと名はるの海あり
 海のよと名はるの海ありとてと名はるの海あり

[illegible]

猫にもちいさな花のうしろに
あそび

一尾長嶺河、野々入、銅部、五、白、荒、々、々

一 毛氈をく淡白な長く尾毛の直斑又二層年入るをれきり
馬身悪くなりしを足馬で舟中へ飼ふ

はるかにカニヤーに五とあるのははるかにちがう。はるかに船は、遠くへ
がにがにとこころのあつたやうに脚のやうな形でおまはり、一體の長さこ
ろ人ばあゝかゝうするやう鱗のうしろの棘列のうしろのまれから
ふちのまじりから八重葉の月の上へ一箇の病のやうなもののやうに脚
血のちがひで長さはさうなり、その月よりの偏のやうなものは長さが二

角よりいふ海も極く人を去るをいふなり
是ういふ人もさういふ龍の子とて別れん

浮人 舟をこへ 河を渡りて 穀し ぬき 草を付して 掃を 草り
 田を ぬき けを 入る せん 牛 ぬの やく うち して 穀を 草り

梅一落葉まふコロレえ國をあらふ解く
可かれ止つコロに止まふ
わなと足散れも解くゆるお家守ま國をあでる令くそよほ
くしくあゝそそむとさうまつふ生流るあふ分てあはれ
るりのやーコロに浮流別あり

伊新抱你重
の金浪うて文島に

此又月教滿堂法本經以四部之月念至如法滿堂月教滿堂律三

三月廿五日 入りてナ 西航

揚一海路記 海路記 丁卯年二月廿五日 船中 西航 同年
二月廿五日 海路記 丁卯年二月廿五日 船中 西航 同年

海路記 丁卯年二月廿五日 船中 西航 同年
海路記 丁卯年二月廿五日 船中 西航 同年
海路記 丁卯年二月廿五日 船中 西航 同年
海路記 丁卯年二月廿五日 船中 西航 同年
海路記 丁卯年二月廿五日 船中 西航 同年
海路記 丁卯年二月廿五日 船中 西航 同年
海路記 丁卯年二月廿五日 船中 西航 同年
海路記 丁卯年二月廿五日 船中 西航 同年
海路記 丁卯年二月廿五日 船中 西航 同年
海路記 丁卯年二月廿五日 船中 西航 同年

海路記 丁卯年二月廿五日 船中 西航 同年

海路記 丁卯年二月廿五日 船中 西航 同年
海路記 丁卯年二月廿五日 船中 西航 同年
海路記 丁卯年二月廿五日 船中 西航 同年
海路記 丁卯年二月廿五日 船中 西航 同年
海路記 丁卯年二月廿五日 船中 西航 同年
海路記 丁卯年二月廿五日 船中 西航 同年
海路記 丁卯年二月廿五日 船中 西航 同年
海路記 丁卯年二月廿五日 船中 西航 同年
海路記 丁卯年二月廿五日 船中 西航 同年
海路記 丁卯年二月廿五日 船中 西航 同年

海路記 丁卯年二月廿五日 船中 西航 同年
海路記 丁卯年二月廿五日 船中 西航 同年
海路記 丁卯年二月廿五日 船中 西航 同年
海路記 丁卯年二月廿五日 船中 西航 同年
海路記 丁卯年二月廿五日 船中 西航 同年
海路記 丁卯年二月廿五日 船中 西航 同年
海路記 丁卯年二月廿五日 船中 西航 同年
海路記 丁卯年二月廿五日 船中 西航 同年
海路記 丁卯年二月廿五日 船中 西航 同年
海路記 丁卯年二月廿五日 船中 西航 同年

未曽有の空前といふ盛し又南アフリカの獲長ある燃帶

冷帯より熱帯の方向あり

[illegible]

楊梅園板の世々ありアフリカ洲のカーネーション本に
 のかまきあつはまた大岡の碑としてむすの風をいふる處も如途
 あいふんと旅めと実とは危難とて事ごとく思ひやう
 彼れより月圓をかり照らすユリノ区をとりよひらむとのひそめど
 旅より言さしやうといふ——望まぬ海よあらう

海軍湖の涌上るが、
上あふりふとせり
マレイサの海何処

波(一八六二年三月十日)
被(一八六二年三月十日)
被(一八六二年三月十日)
被(一八六二年三月十日)

二月廿六日
三月朔日
三月廿一日

彼二月十日 我二月十日 彼三月十日 我三月十日 彼四月十日 我四月十日 彼五月十日 我五月十日

波育ナカ。和月十日。一日。三合。和月十日。一日。三合。

のる一田の里役も幾一彼二月廿六日我月土の四十一日迄入居す

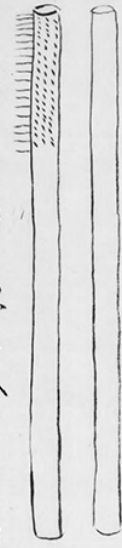
彼二月廿六日 我三月十九日

同卯辰は己卯の寅ふ申の辰うつ星は己年の二月 酉方は紀と
せしむるまじやうと二月の名を「ホウ」二月は例年をいへりとよみ
た年間の二月をさへた

[illegible][illegible]

島人の人々を記し、その人々の衣服、髪、顔、手足、
 形、色、人々の多寡、人々の多寡、人々の多寡、人々の多寡、

島人の人々を記し、その人々の衣服、髪、顔、手足、
 形、色、人々の多寡、人々の多寡、人々の多寡、人々の多寡、

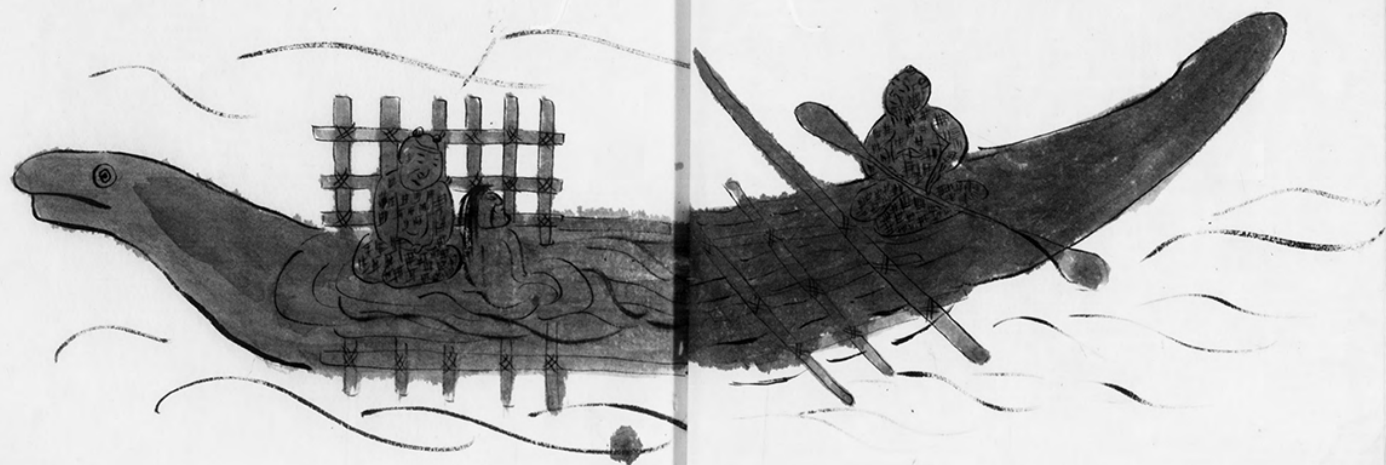


一 島の人は、その人々の衣服、髪、顔、手足、形、色、人々の多寡、人々の多寡、人々の多寡、人々の多寡、
 一 島の人は、その人々の衣服、髪、顔、手足、形、色、人々の多寡、人々の多寡、人々の多寡、人々の多寡、
 一 島の人は、その人々の衣服、髪、顔、手足、形、色、人々の多寡、人々の多寡、人々の多寡、人々の多寡、

マルケイ島人男女之圖



同寫舩之圖



[illegible][illegible]

[illegible]

大洋

白鳥

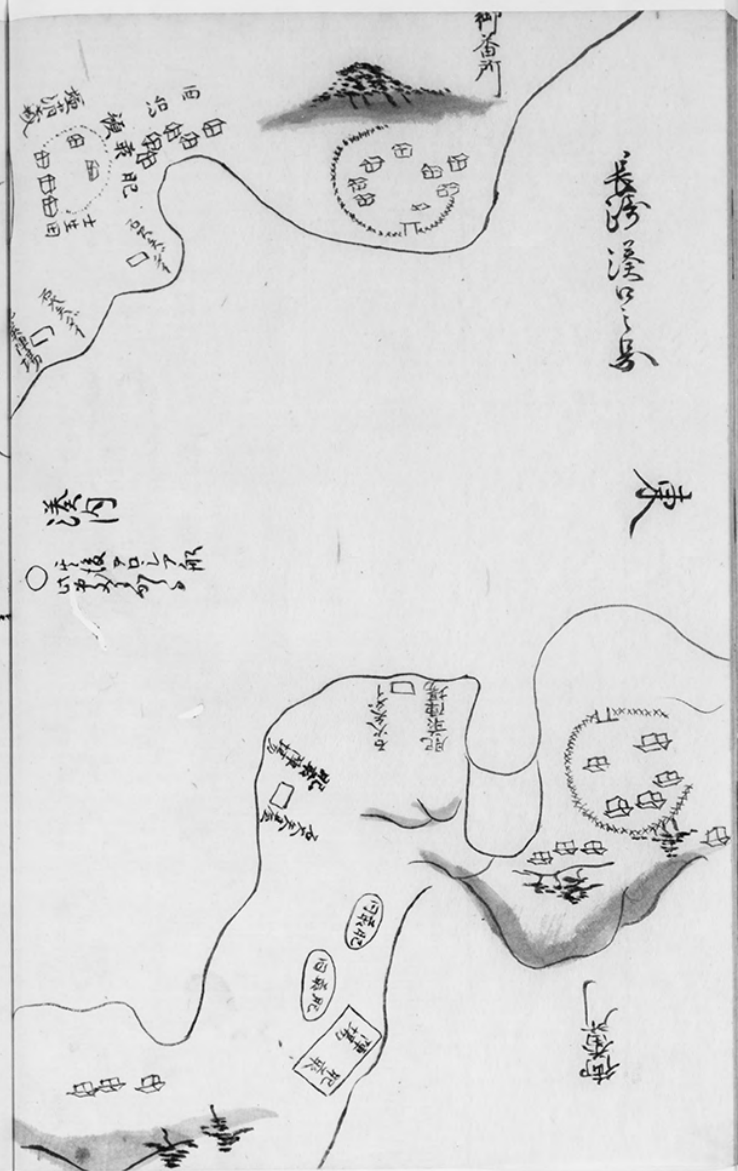
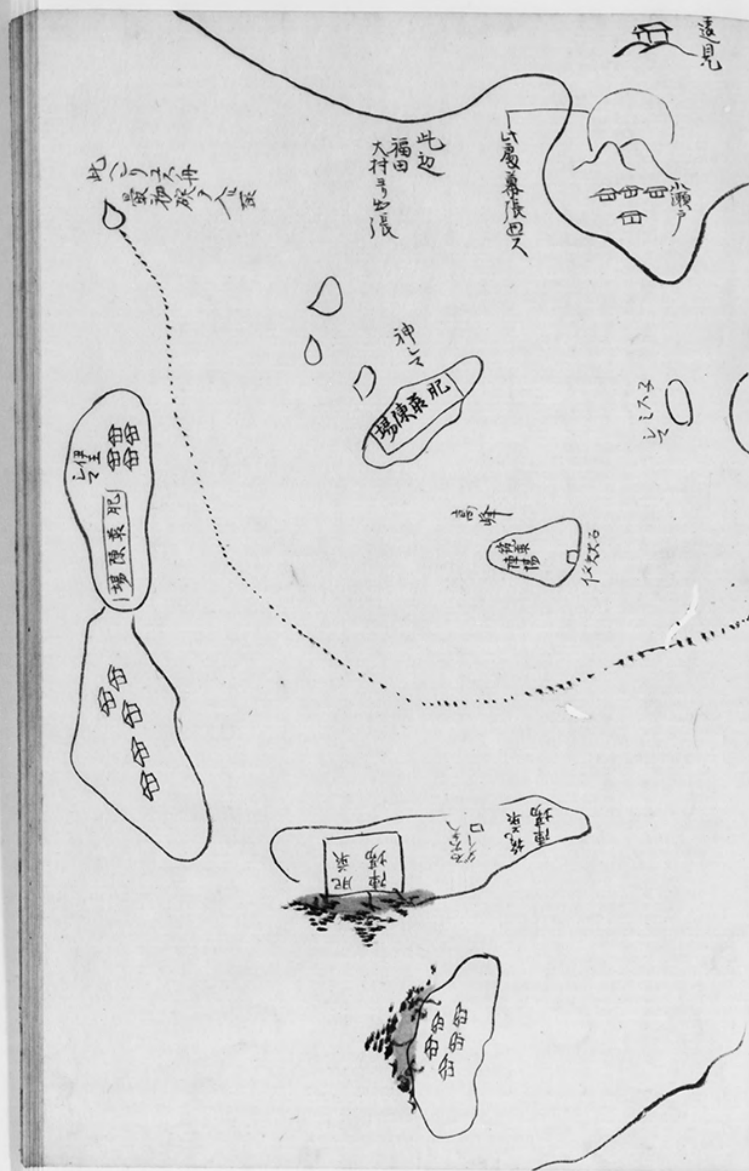
東京大学経済学図書館所蔵 旧図書館分類文書 5507677416

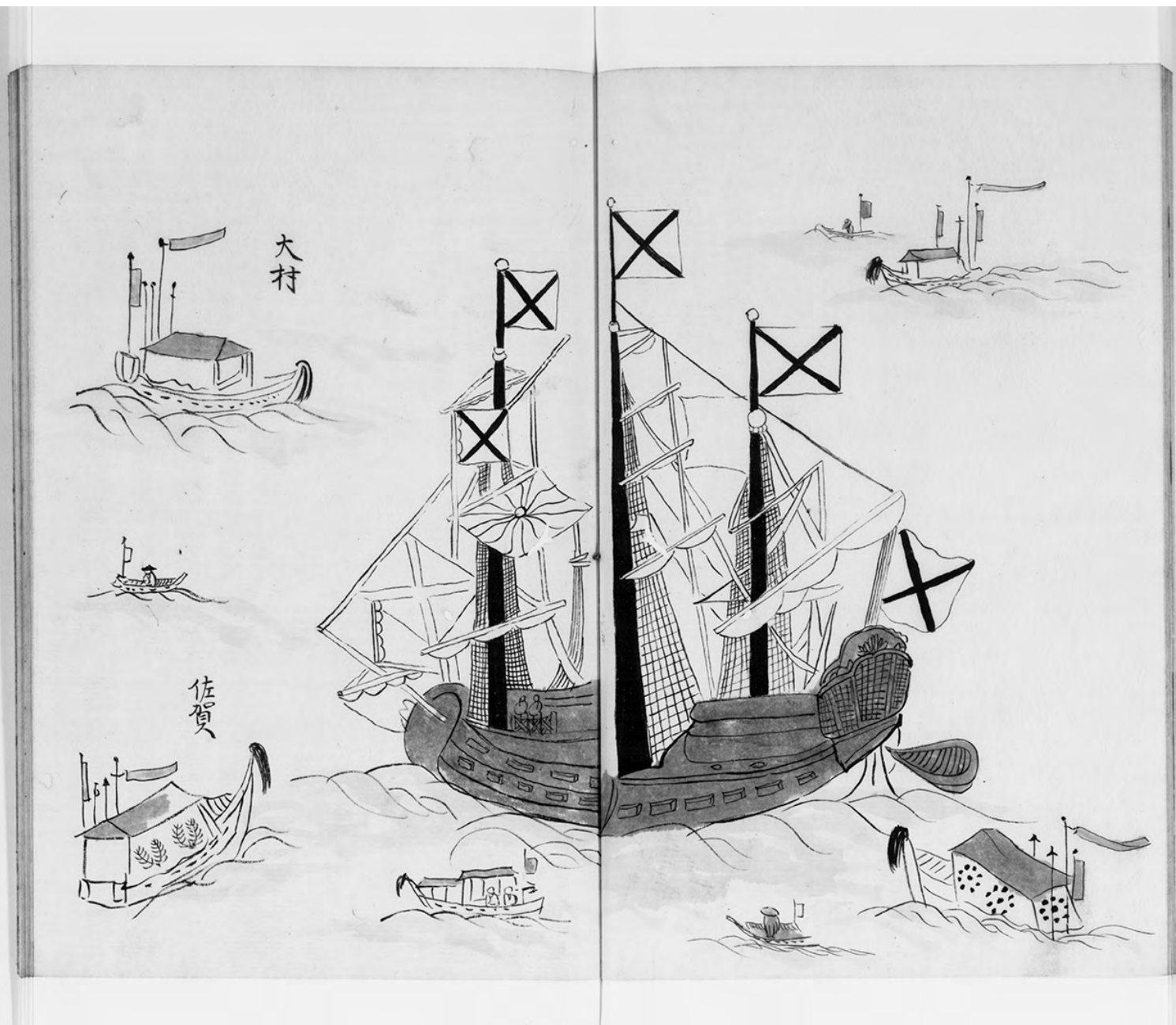
[illegible]

又圓城とまじりてがほし薩摩のおまアをけりては船中へてふ面あぢ
酒を酌せり

海返紀を檢するに從ひて前夜曉に於てカミヤノ宿に於て

長崎の蘭館を廻るも解未上は彼の月十九日の朝日七口とし
やうに船を何し海客大に相見付官知帳のみ二つあるひかり
すちありぬ海客記を捨するにカニヤ一匹知帳をもて死すべ
し海客一鳥なりそなるか縁をりぬ一匹死して故て其日
と相見付物ともば甚き自害也。あふゝんていふゆゑもわ
解未上のちのやうにて長崎の蘭館の日たゞ今年よりあら





Handwritten text in Devanagari script, first line of the left page.

Handwritten text in Devanagari script, second line of the left page.

Handwritten text in Devanagari script, first line of the right page.

一 海國の事

一 海國の事

一 海國の事

一 海國の事

一 海國の事

一 海國の事

一 海國の事

一 海國の事

一 海國の事

一 海國の事

一 海國の事

一 海國の事

一 海國の事

一 海國の事

一 海國の事

一 海國の事

一 海國の事

一 海國の事

一 海國の事

一 海國の事

日 一 月 一 日

一 月 一 日

一 月 一 日

一 月 一 日

一 月 一 日

一 月 一 日

一 月 一 日

一 月 一 日

一 月 一 日

一 月 一 日

一 月 一 日

一 月 一 日

一 月 一 日

一 月 一 日

一 月 一 日

一 月 一 日

一 月 一 日

一 月 一 日

一 月 一 日

一 月 一 日

日下は海に面する所なりと云ふ事なり

海に面する所なりと云ふ事なり

海に面する所なりと云ふ事なり

海に面する所なりと云ふ事なり

海に面する所なりと云ふ事なり

海に面する所なりと云ふ事なり

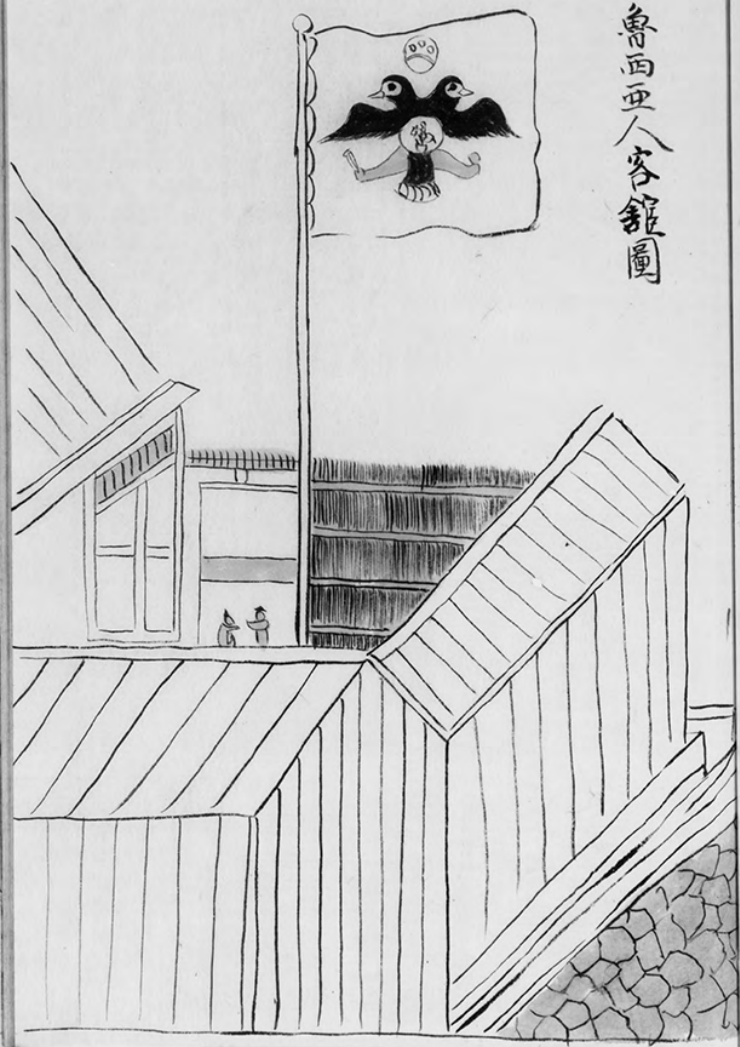
海に面する所なりと云ふ事なり

海に面する所なりと云ふ事なり

海に面する所なりと云ふ事なり

海に面する所なりと云ふ事なり

魯西亜人客館圖



ニユライトサウト 歳四十一

赤羽
白羽
白羽
黒皮
金縁



金縁織
レントス

衣服花色天鵞織但衣服ハ着替之毎度
地姓ハ毛色種々ナレモ制作ハ同じナリ

白リナ緒

地金銀王鎊アリ
裏ハ淡黄ノキナリ

此鍔琉金也

上寮針役

ラートマノフ

歳三十四



釵ハソリアリ位階ニヨラス
長綾好次骨ト見ユ

冠帽 使者

役人

A black wide-brimmed hat with a white band. The hat has a dark, textured crown and a broad, flat brim. A single white band is wrapped around the base of the crown. The hat is shown from a top-down perspective.

熊ノ毛ノヤウニテ

足輕
熊ノ毛ヤウミナ
長物

長物ナリ

東京大学経済学図書館所蔵 旧図書館分類文書 5507677416

وَأَمَّا الْفُلُ فَإِنَّمَا هِيَ كَأَنَّمَا
يَكُونُ الْفُلُ فِي الْبَحْرِ
وَأَمَّا الْفُلُ فَإِنَّمَا هِيَ كَأَنَّمَا
يَكُونُ الْفُلُ فِي الْبَحْرِ

وَأَمَّا الْفُلُ فَإِنَّمَا هِيَ كَأَنَّمَا
يَكُونُ الْفُلُ فِي الْبَحْرِ
وَأَمَّا الْفُلُ فَإِنَّمَا هِيَ كَأَنَّمَا
يَكُونُ الْفُلُ فِي الْبَحْرِ

وَأَمَّا الْفُلُ فَإِنَّمَا هِيَ كَأَنَّمَا
يَكُونُ الْفُلُ فِي الْبَحْرِ
وَأَمَّا الْفُلُ فَإِنَّمَا هِيَ كَأَنَّمَا
يَكُونُ الْفُلُ فِي الْبَحْرِ

وَأَمَّا الْفُلُ فَإِنَّمَا هِيَ كَأَنَّمَا
يَكُونُ الْفُلُ فِي الْبَحْرِ

وَأَمَّا الْفُلُ فَإِنَّمَا هِيَ كَأَنَّمَا
يَكُونُ الْفُلُ فِي الْبَحْرِ

[illegible][illegible]

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document. The text is written in a fluid, connected style across several lines.

Handwritten text, possibly a signature or a small note, located below the main body of text on the right page.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document. The text is written in a fluid, connected style across several lines.

Handwritten text, possibly a signature or a small note, located below the main body of text on the left page.

一 陸奥
 一 肥後
 一 薩摩
 一 豊後
 一 大分
 一 熊本
 一 鹿兒島
 一 宮崎
 一 鹿児島
 一 那覇

一 福岡
 一 佐賀
 一 長門
 一 山口
 一 徳島
 一 高松
 一 香川
 一 愛媛
 一 伊予
 一 高知
 一 山形
 一 秋田
 一 岩手
 一 宮城
 一 福島
 一 茨城
 一 栃木
 一 群馬
 一 埼玉
 一 千葉
 一 東京
 一 神奈川
 一 山梨
 一 長野
 一 新潟
 一 富山
 一 石川
 一 福井
 一 滋賀
 一 京都
 一 大阪
 一 兵庫
 一 奈良
 一 和歌山
 一 徳島
 一 高松
 一 香川
 一 愛媛
 一 伊予
 一 高知
 一 山形
 一 秋田
 一 岩手
 一 宮城
 一 福島
 一 茨城
 一 栃木
 一 群馬
 一 埼玉
 一 千葉
 一 東京
 一 神奈川
 一 山梨
 一 長野
 一 新潟
 一 富山
 一 石川
 一 福井
 一 滋賀
 一 京都
 一 大阪
 一 兵庫
 一 奈良
 一 和歌山

一 徳島
 一 高松
 一 香川
 一 愛媛
 一 伊予
 一 高知
 一 山形
 一 秋田
 一 岩手
 一 宮城
 一 福島
 一 茨城
 一 栃木
 一 群馬
 一 埼玉
 一 千葉
 一 東京
 一 神奈川
 一 山梨
 一 長野
 一 新潟
 一 富山
 一 石川
 一 福井
 一 滋賀
 一 京都
 一 大阪
 一 兵庫
 一 奈良
 一 和歌山
 一 徳島
 一 高松
 一 香川
 一 愛媛
 一 伊予
 一 高知
 一 山形
 一 秋田
 一 岩手
 一 宮城
 一 福島
 一 茨城
 一 栃木
 一 群馬
 一 埼玉
 一 千葉
 一 東京
 一 神奈川
 一 山梨
 一 長野
 一 新潟
 一 富山
 一 石川
 一 福井
 一 滋賀
 一 京都
 一 大阪
 一 兵庫
 一 奈良
 一 和歌山

日本は、
東洋の
中心地
として
発展
する
こと
が
望
ま
れ
る
。

日本は、
東洋の
中心地
として
発展
する
こと
が
望
ま
れ
る
。

日本は、
東洋の
中心地
として
発展
する
こと
が
望
ま
れ
る
。

日本は、
東洋の
中心地
として
発展
する
こと
が
望
ま
れ
る
。

張海異聞
卷の尻

